

浄化センターの方のお話を聞いて

甲斐 永真

小郡市立 小郡小学校

私は、福童浄化センターの方のお話を聞いて、四つのことが分かりました。

まず一つ目は、び生物のことです。び生物は十四しゆるいいて、そのび生物たちで水にとけているよこれをとりのぞくそうです。また、新しいび生物は、ニュースに出ることもあるそうです。

次に二つ目は、実験のことです。新聞紙やティッシュペーパー、トイレットペーパーを水の中に入れ、よくまぜた後、ざるに通るかという実験です。ティッシュペーパーと新聞紙は通らずにのこり、トイレットペーパーだけ通りました。私はトイレットペーパー以外のものは流さないように気をつけようと思いました。さらに、今回の話でトイレがつまるげんいんを知ることができました。

三つ目は、ひと回りするともにもどり、それをくり返すじゅんかんのことです。牛にゆう一ぱいだときれいにするのに、おふろが十一ぱい分いり、みそしるのおわん一ぱいだとおふろが四はい分いるそうです。また、みんなが使うシャンプーの2プッシュだと、おふろが一ぱいいるそうです。私は、牛にゆう一ぱいだとおふろが十一ぱい分いることに、とてもおどろきました。もし、料理で使ったフライパンの油よこれを、そのまま流してしまつたら、どれだけの水が必要なのだろうと思いました。だから、何気なくしていた油よこれのお皿をキッチンペーパーでふきとっていたことは、とても大事だと気づきました。

た。油の量が多い時は、丸めた新聞紙やいらなくなったぬのに油をしみこませてしよ分するといひそうです。

四つ目は、使用された水は、福童浄化センターに集められ、そこで水をしよ理して川に流すということです。集められた水は茶色くにこつており、タンクにいれられます。何回もしよ理すると、下はよこれたもの、上はきれいな水にわかれます。そのきれいな水で、メダカをかつているそうで、とてもきれいだということが分かりました。一回だけじゃなく、いくつものこうていで、やつとほう満川に流すことができ、その一つ一つのこうていをたかさんの係の人たちが行っていることに、とても感動しました。

今回のお話でも心に残ったことは、トイレがつまった時のげんいんを前もつて知れたことです。そのつまるげんいんは、ティッシュペーパーや新聞紙などをそのままトイレに流すことです。もう一つは、四つ目で書いた、一つ一つのこうていをたかさんの係の人たちが行っていることです。ここでは、たかさんの係の人たちが集まつてがんばっているから、このこうていもできたのかなと思いました。